



ダウンロードはこちら

SMIC COMPANY PROFILE

千住金属工業株式会社 会社案内

www.senju.com



抗菌ニス仕様、カーボンオフセット印刷

～経営の理念～

有用な製品を
世に供給することで、
公器としての使命を果たす。

- 実力 -

必要な能力、プロになること

- 誠実 -

人間としての良心、正しい心を持つこと

- 闘魂 -

困難なことにも挑戦し、克服すること

千住金属工業株式会社は 1938 年 4 月に、株式会社千住鉛工場として創業し、以来、一貫してエレクトロニクス・機械産業関連の製品を手掛け、長年にわたり産業に貢献してきました。これからも「有用な製品を世に供給することで、公器としての使命を果たす」という経営理念のもと、新たな価値を創造する新製品開発を強力に推進し、独自技術で世界に貢献できる企業を目指してまいります。

Message from the President

ご挨拶

トータルソリューションで、
次世代の接合技術構築戦略を、
グローバルに展開していきます

千住金属工業株式会社は、1938 年 4 月、株式会社千住鉛工場として創業し、以来、一貫してエレクトロニクス・機械産業関連分野の製品を手がけ、長年にわたり産業界に寄与・貢献してまいりました。常に、品質を極めようとする熱意で激しい時流の変動に即応する経営を心がけ、皆様方のお引き立てにより着実に業績を拡大しております。その結果、はんだ部門・FA 装置部門・軸受部門を基軸に、スプリングラバー・産業分析・海外子会社など SMIC グループが一丸となってグローバルに総合的な接合技術を提供する企業体に成長いたしました。「より創造的な技術で最良の製品を供給する」ことを基本理念におき、ニーズに適応した高い品質と創造的な技術でグローバルな展開を進めております。

近年、半導体・電子部品から電気電子機器・産業機器・建設機械・自動車産業まで広い領域で、環境保全・資源重視・気候変動・安全志向など新しい社会的要請が生まれてきました。このような背景を強く意識し、総合的なソリューションを生み出す新しいイノベーションの構築も進めております。また、創業理念である先進技術への挑戦を続けて、次世代先端分野にふさわしい新領域の研究開発・製品化の取組を増強・拡大いたします。

近い将来、起こると予測されている大震災を想定したリスク管理を更に強化し、事業活動における透明性と説明責任を果たすための CSR 活動の継続的な推進を図り、お客様との密接なパートナーシップをより深め、相互信頼性を促進する努力を重ねてまいります。

代表取締役社長

鈴木 良一

はんだ付けのリーディングカンパニーとして 千住金属工業のイノベーション

千住金属工業は、1938年の創業以来、はんだ付け材料やFA装置、すべり軸受を基軸とするジョイントシステムテクノロジーで数々のイノベーションを起こし、エレクトロニクス、自動車など各種産業分野へ、新たな価値をグローバルにもたらしてきました。また、めっき用アノードや水道管の長寿命化を実現した耐防食用合金線の製品化など、新用途材料も基軸に加わってきました。

1955年

日本ではじめて やに入りはんだを生産開始

やに入りはんだとは、糸状のはんだの中央部にやに（フラックス）が入っている製品です。汎用品として、ご家庭から工業用にまで幅広く普及しています。このやに入りはんだを「スパークルハンダ」として日本ではじめて製品化したのが、千住金属工業です。スパークルハンダは、ラジオやテレビの配線用として開発され、日本のエレクトロニクス産業の発展に大きく寄与しました。また1956年には、はんだに関して初のJIS・日本工業規格の標示許可をいただきました。



写真左は、初期のやに入りはんだです。テレビ・ラジオ継線用スパークルハンダとして生産が開始されました。

1990年

連続生産を可能とした 窒素雰囲気リフロー炉を開発

フロン規制に端を発した実装基板の無洗浄化が進むと、無洗浄対応のソルダペーストでも、濡れ性が確保できる、窒素雰囲気下での加熱が検討

されました。当初は加熱炉の出入り口を密閉し、窒素を充填する方式のリフロー炉が使用されていましたが、連続生産性に課題がありました。そこで当社は連続生産を可能とすべく、出入口が開放された状態でも低酸素濃度を保てる窒素リフロー炉を業界に先駆け開発。SXシリーズとしてリリースし、その基本技術は現在のSNR-GTIIシリーズに連綿と受け継がれています。



1995年

すべり軸受の鉛フリー化を開始

当時のすべり軸受には、すべりを良くする特性に優れた、鉛の含有が一般的でしたが、環境面では懸念もありました。当社は2003年のRoHS指令告示の8年前には、鉛含有品と同等以上の性能を保ち、鉛フリー化を実現した「クリーンメタルCB90」を開発・販売を開始。サスペンションの動きをスムーズにできることから、オートバイのフロントフォークで採用されたのを皮切りに、今では自動車のショックアブソーバをはじめ、多くの採用実績を誇ります。現在では使用箇所に応じた微妙な調整を行い、多彩な焼結技術・製品を展開しています。

クリーンメタル
CB90



1996年

世界に先駆けて、 「鉛フリーはんだ」を開発

はんだは、紀元前から続く約5000年の歴史がありますが、その中で主成分となってきたのは、スズと鉛からなるSn-Pb系はんだです。しかし1990年代、鉛による地下水の汚染が環境問題となり、鉛の全廃を望む声が高まっていました。千住金属工業は世界に先駆けて、信頼性の高いSn-Ag-Cu系鉛フリーはんだを開発し特許を取得。代表製品である「M705」は多くの製品で採用され、世界の標準的な材料として鉛フリー化が促進。地球の環境保全に大きな貢献を果たしました。現在でも、用途に応じた鉛フリーはんだを数多く開発し、更なる挑戦と進化を続けています。

ECO SOLDER

2011年

はんだ業界で唯一RBAに加盟し 「紛争鉱物不使用」を宣言

当社は2009年から紛争鉱物不使用への取り組みを開始。精錬所の監査を実施し、紛争鉱物不使用を確認。2011年に「紛争鉱物不使用」を宣言しました。



※ RBA (Responsible Business Alliance、責任ある企業同盟)
※ RMI (Responsible Minerals Initiative、責任ある鉱物イニシアチブ)

2018年

IATF 16949の認証を取得

当社では1994年のISO 9001の認証取得にはじまり、その後ISO/TS 16949への登録更新を経て、2018年には自動車産業の国際的な品質マネジメントシステム規格である「IATF 16949」の認証を取得しました。自動車産業界のサプライチェーンにおいては、大変重要な認証取得です。

2020年

環境ビジョン2050を策定

事業活動を通じてゼロエミッション社会の実現に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献するために、低炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現を目指した環境ビジョンを策定し、継続的な活動を行っています。

2023年

低温実装技術「MILATERA」を発表

MILATERAは汎用的な鉛フリーはんだより融点が約80℃低いはんだを用いることで低温実装を可能とし、CO₂削減に貢献する実装技術の総称です。名称の由来は「MILA（未来）+TERA（照らす×ラテン語の地球・大地）」であり「未来の地球を明るく照らす」という意味合いを持たせています。

MILATERA
Low Temperature Soldering for Earth

環境ビジョン2050による ゼロエミッション社会実現 への取り組み

千住金属工業グループは、地球温暖化・酸性雨・土壌汚染・水質汚濁などの地球環境問題に取り組むことが、人類の生存基盤に深く関わる重要な課題であり、人類共通の使命であることを認識しています。事業活動を通じたゼロエミッション社会の実現に取り組み、持続可能な社会の構築に貢献します。

環境ビジョン2050

3つの社会の実現を目指して

1 低炭素社会の実現

温室効果ガスゼロ社会への挑戦

企業活動における省エネルギー化の推進

2 循環型社会の実現

資源循環による地球資源の保護

3 自然共生社会の実現

生物多様性の保全と、環境リスクのある有害な化学物質使用ゼロ社会への挑戦

第二次環境プラン

(2020年度～2030年度)

カーボンニュートラルに 向けた取り組み

2013年度のCO₂排出量(17,328t-CO₂)の
25%分を2030年度までに削減

製品リサイクル推進

3R※材料を100%使用した製品の開発

有害性化学物質の使用量ゼロ

人体と環境に影響を及ぼす化学物質の使用量ゼロ

生物多様性の保全

環境保護活動による生物多様性の保全

※3R=Reduce(発生抑制)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)

Δt80℃が つなぐ未来へ

時代の移り変わりと共に変化する溶ダリングのニーズ、
その答えが、SMICの低温溶ダリングソリューション「MILATERA」です。

従来より融点が約80℃低いSMICの低温はんだ「MILATERA」がめざすのは、
モノづくりが人にも、環境にもやさしくなる未来です。

温度を下げることで、減らせるものがある。

だからSMICの「MILATERA」は、未来にプラスになるマイナス。

届けたいのは、企業と社会の未来を明るく照らす、次世代の実装技術です。

低温溶ダリングソリューション [ミラテラ]

MILATERA
Low Temperature Soldering for Earth

千住金属工業は接合技術で 社会に貢献するグローバル企業です

千住金属工業は、はんだ付け材料、FA装置、焼結技術・製品事業を核として、Electronics・Chemicals・Mechanics・Metallurgyのコア技術を融合させ、その技術をより深めることでシナジーを創出、電気電子機器、半導体、自動車など、あらゆる分野の多様なハイテクノロジー化の一翼を担っています。

千住金属工業の焼結技術・製品は、異なる素材どうしを組み合わせ、新たな機能を生み出します。焼結技術・製品は、建設機械や農業機械を動かす油圧機器、そして自動車のショックアブソーバなどに採用され、高い評価と信頼を得ています。



はんだ付 け材料

千住金属工業で開発しているはんだ付け材料には、棒・線・ペースト・ボールなどさまざまな形態があり、お客様の目的や用途に合わせて提案しています。加えてはんだ付けの際に重要な役割を果たすフラックスも開発しています。さらにFA装置も自社開発することで「トータルソリューション」でお客様のご要望にお応えします。製品の詳細は製品カタログをご覧ください。

MILATERA
Low Temperature Soldering for Earth

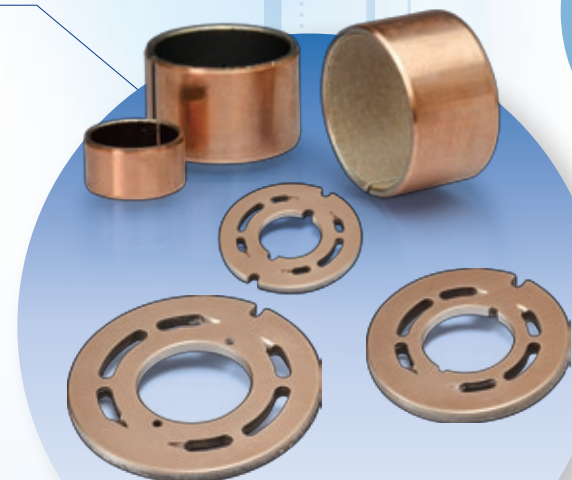
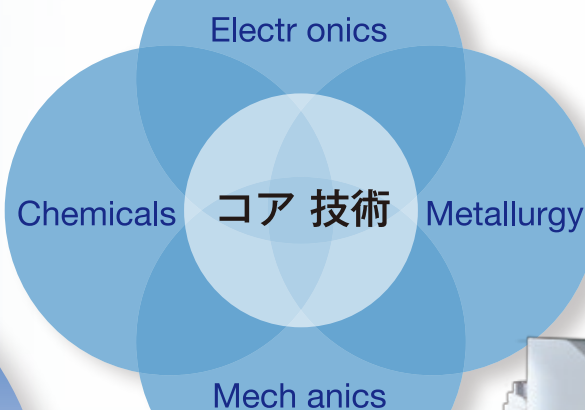
ECO SOLDER

※SMICは、あらゆる形態の鉛フリーはんだ「ECOSOLDER」を提供しています。

※MILATERAおよびECOSOLDERは、千住金属工業の商標または登録商標です。



カタログダウンロードは
こちら



焼結技術・製品



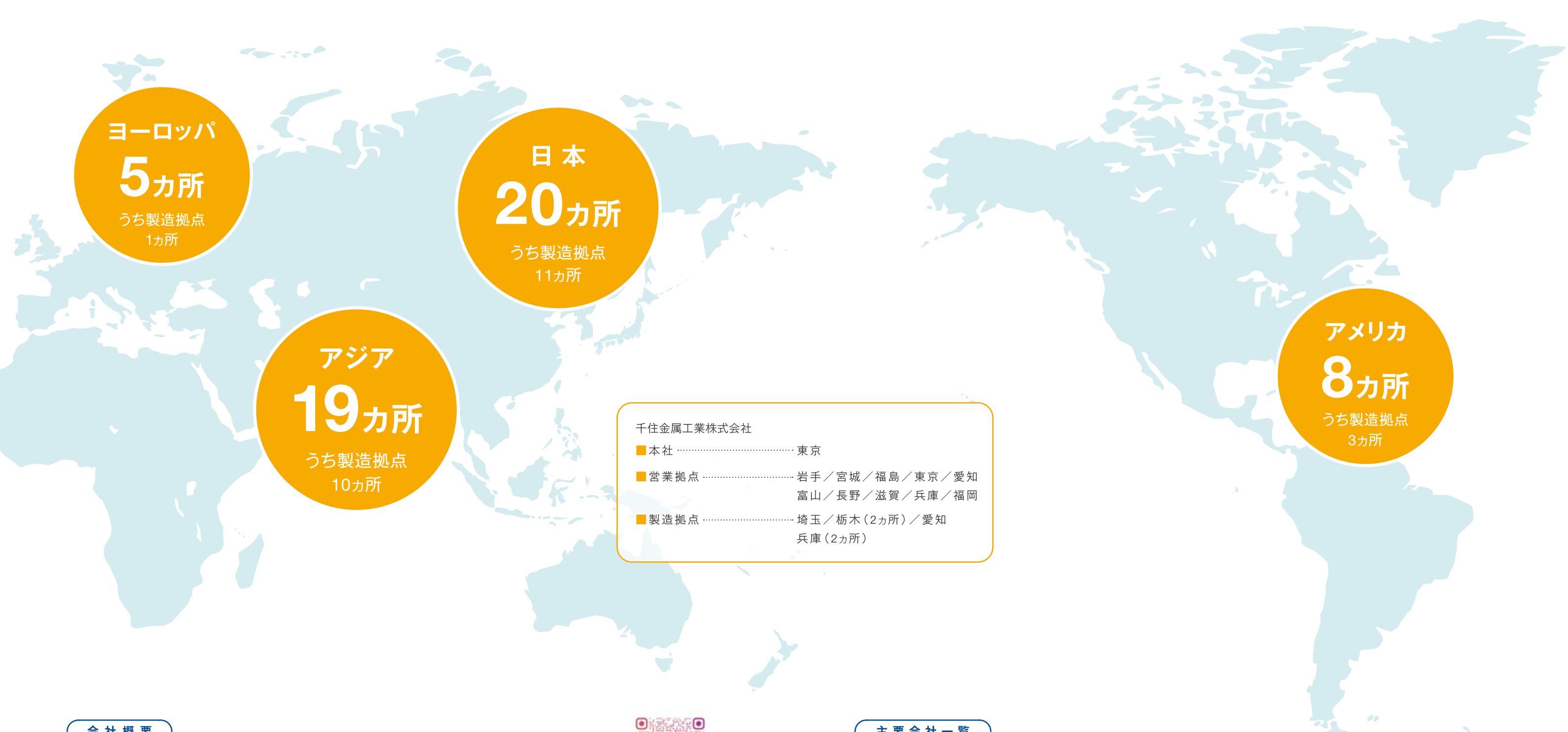
FA装置

千住金属工業のFA装置は、はんだ付け技術を熟知した技術者が開発に携わっています。モバイル機器内の微細な部分、自動車部品など高温環境下で使用する電子制御機器、カーボンニュートラルに貢献する低温実装など、さまざまなはんだ付けのニーズに合わせた開発を行っています。

製品の詳細は製品カタログをご覧ください。



カタログダウンロードは
こちら



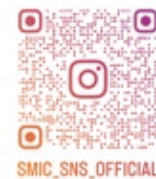
会 社 概 要

千住金属工業株式会社 / 千住金属工業グループ
SENJU METAL INDUSTRY CO., LTD.

DUNS# 690663091

設 立	1938年4月15日
本社所在地	〒120-8555 東京都足立区千住橋戸町23番地
代表取締役社長	鈴木 良一

公式Instagramを
始めました



■ 事業規模

売 上 高 (連 結)	1,191億円 (2023年1月～2023年12月)
資 本 金	4億円
従業員数 (連 結)	2,190名 (2023年12月時点)

主 要 会 社 一 覧

▶ 日本

株式会社産業分析センター
千住スプリングラー株式会社
千住システムテクノロジー株式会社
千住電子工業株式会社
千住技研株式会社

▶ アメリカ

Senju America Inc.
Senju Comtek Corp.
Senju Fire Protection Corp.

▶ ヨーロッパ(ドイツ、チェコ)

Senju Metal Europe GmbH
Senju Manufacturing Europe s.r.o.

▶ アジア

Senju (Malaysia) Sdn. Bhd.
Senju Trading (M) Sdn. Bhd.
Senju (Thailand) Co., Ltd.
Senju Solder (Phils.) Inc.
天津千住電子有限公司
北京千住消防器材有限公司
上海千寿企業管理咨询有限公司
千住金属(上海)有限公司
千住金属(惠州)有限公司
千住電子材料(香港)有限公司
台灣千住電子股份有限公司
日商千住金属工業股份有限公司 高雄分公司
韓國千住金属株式會社